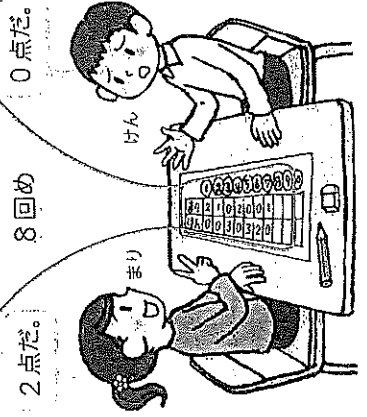


2 0のかけ算

まりさんたちは、じゃんけんゲームをしています。

記ろく用紙

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
まり	2	1	0	2	0	0	1		
けん	0	0	3	0	3	2	0		



- ・じゃんけんをして、勝ったら右の点数がもらえる。
- ・負けたら0点になる。
- ・10回じゃんけんをする。
- ・あいこは、回数に数えない。

下の表は、まりさんの記ろくを点数ごとに整理したものです。まりさんのとく点のとり方を式に表して、とく点をもとめましょう。

点数(点)	勝て勝ち	勝て勝ち	勝て勝ち	負け	合計
	3	2	1	0	
回数(回)	0	4	2	4	10
とく点(点)					

まりさんの、2点と1点のところのとく点のとり方を式に表して、とく点をもとめましょう。

- 勝ったときの点数 × 回数 = とく点
- 2点... $2 \times \square = \square$ 1点... $1 \times \square = \square$
- (4ポイント何回?) (2ポイント何回?)
- まりさんの、3点と0点のところのとく点のとり方を式に表して、とく点をもとめましょう。

0のかけ算について考えよう。



場面を式に表すと...



0をいくつ集めても...

$3 \text{ 点} \dots 3 \times \square = \square$ $0 \text{ 点} \dots 0 \times \square = \square$

(ハロー何回?) (ハロー何回?)

かけ算では、かける数やかけられる数が0のときも、式に表すことができる。

どんな数に0をかけても、また、0にどんな数をかけても、答えは()になる。

式は、場面を表す「算数のことば」といえるね。

下の表を見て、けんさんのとく点のとり方を式に表して、とく点をもとめましょう。

<けんさんのとく点>

3点... $3 \times 2 = 6$
2点... $2 \times 2 = 4$
1点... $1 \times \square$



点数(点)	勝て勝ち	勝て勝ち	勝て勝ち	負け	合計
	3	2	1	0	
回数(回)	2	2	0	6	10
とく点(点)					

式に表すと、何で何回勝って何点とったかが、ひと目でわかるね。

- えいたさんのとく点のとり方は、 3×2 2×0
- 右のような式に表せます。 1×3 0×5
- 勝った回数は何回ですか。()回
- えいたさんが負けた回数は、何回ですか。()回
- 理由もいえるかな。

- ① $9 \times 0 = \square$ ② $0 \times 8 = \square$ ③ $14 \times 0 = \square$ ④ $0 \times 0 = \square$